

様式

地域関連課題等研究支援費に係る研究成果報告（ホームページ用）

	(所 属)	(職 名)	(氏 名)
研究 代表者	京都府立大学文学部	准教授	藤原英城
研究組織 の体制	文学部	准教授	藤原英城
	同	教授	赤瀬信吾
	同	教授	山崎福之
	同	教授	池田敬子
	同	教授	母利司朗
	同	教授	安達敬子
	同	教授	井野口孝
	同	教授	小松謙
	同	准教授	林香奈
研究の 名称	京都府立総合資料館 新収追加貴重書 書誌調査研究		
研究のキ ーワード	京都府立総合資料館 新収追加貴重書 書誌調査研究 古典籍		
研究の 概要	京都府立総合資料館（京都市左京区下鴨半木町1-4）の協力の下、『京都府立総合資料館貴重書目録』（昭和46年）発行後に新たに追加収蔵された貴重書の内、古典籍に関する書誌調査を行い、それらの内容や諸本について研究し、その成果を報告書として公開する。		
研究の 背景	京都府立総合資料館所蔵の貴重書については、昭和46年3月発行の京都府立総合資料館図書部編『京都府立総合資料館貴重書目録』が備わる。しかし、同書発行後、新たに収蔵された貴重書25点については、簡単な書名リストが知られるのみで、それらの書誌調査はいまだ十分とは言えない状況にある。新収貴重書の調査およびその研究成果の公開は急務である。		
研究手法	新収貴重書の中から、和漢の古典籍をピックアップして、その書誌調査ならびに解題・研究を京都府立大学文学部日本・中国文学科所属の全教員9名によって行い、その研究成果を公表する。		

研究の進捗状況と成果	<p>新収貴重書25点の内、以下の古典籍9点（14作品）について、京都府立大学文学部日本・中国文学科所属全教員9名によって書誌調査研究が行われ、その成果が研究成果報告書として公開された。</p> <p>「賦何船連歌」（山崎）、「伊勢物語聞書」（池田）、「源氏物語巻巻系図」（安達）、「明月記 歌道事」（赤瀬）、「京童」（母利）、「八文字屋（日本永代蔵・西鶴織留・西鶴俗つれづれ・子孫大黒柱・商人軍配団・今昔出世扇）」（藤原）、「日本行紀」（井野口・赤瀬）、「帝鑑圖説」（小松・林）、「列女傳」（小松・林）。</p>
地域への研究成果の還元状況	<p>研究成果報告書を京都府立総合資料館に寄贈。</p> <p>平成22年11月頃にシンポジウム・展示会を総合資料館とともに開催して、研究成果を地域・府民へ還元する予定である。</p>
今後の期待	<p>京都府立総合資料館所蔵の古典籍約70,400冊の内、貴重書（約4,400冊）にはすでに『京都府立総合資料館貴重書目録』（昭和46年）が備わるが、およそ40年を経て不備も目立つようになった。われわれは未整理の準貴重書（約66,000冊）についても、将来的にその文献的・書誌的な調査を行い、その結果をデータベース化して、今日まで十分に把握されているとは言いがたいその全貌を示したいと考えているが、まずは新収貴重書の継続調査とともに貴重書の再調査に着手し、上述の『貴重書目録』の不備を正すとともに最新の研究成果を公開したい。</p>
研究発表	<p>平成22年11月頃に、今回調査した新収貴重書や京都府立総合資料館所蔵の古典籍についてのシンポジウム・展示会を行う予定である。</p>